

WebDB Forum 2014 L^AT_EX テンプレート (英文アブストラクト省略)

東工 大^{1,a)} 情報 理子²

概要 : WebDB Forum 2014 論文集のテンプレートファイル (英文アブストラクト省略) です.

How to Use L^AT_EX Template for WebDB Forum 2014

DAI TOKO^{1,a)} RIKO JOHO²

1. はじめに

このテンプレートは情報処理学会 L^AT_EX スタイルファイル^{*1} の DOS 用を基に作成されました. webdbf2014.tex がソースファイルで, webdbf2014.pdf が原稿の作成例です. webdbf2014.tex は SJIS でエンコードされておりますので, 環境に合わせて変更して下さい. なお, 英文アブストラクトを省略される方は, webdbf2014omitAbst.tex (原稿作成例は webdbf2014omitAbst.pdf), 英文アブストラクトと英文タイトル・英文著者名を省略される方は webdbf2014omitAll.tex (原稿作成例は webdbf2014omitAll.pdf) をご利用ください. また, 英文で原稿を執筆される方で, 日本語タイトル・日本語著者情報・日本語アブストラクトを省略される方は webdbf2014eng.tex (原稿作成例は webdbf2014eng.pdf) をご利用ください.

2. 英文アブストラクト等の省略について

和文で原稿を執筆する場合, 英文タイトル, 英文著者名, 英文アブストラクトは省略することが可能です. いずれかを省略する場合は対応するコマンドをコメントアウトし, 必要に応じて調整してください.

2.1 英文アブストラクトのみを省略する場合

`\begin{eabstract}` ~ `\end{eabstract}` の部分をコメントアウトして下さい (webdbf2014omitAbst.tex 参照).

2.2 英文タイトル, 英文著者名, 英文アブストラクトを省略する場合

クラスの指定に `noauthor` オプションを追加して `\documentclass[submit,techreq,noauthor]{ipsj}` として下さい. さらに, `\etitle{}`, `\begin{eabstract}` ~ `\end{eabstract}` をコメントアウトして下さい (webdbf2014omitAll.tex 参照).

3. 英文のみでの原稿執筆について

クラスの指定に `english` オプションを追加して `\documentclass[submit,techreq,english]{ipsj}` として下さい (webdbf2014eng.tex 参照).

4. おわりに

本テンプレートに関する問合せは WebDB Forum 2014 実行委員会^{*2} までお願いします. 情報処理学会には問い合わせないようにお願いします.

¹ XX 大学
XX University

² YY 株式会社
YY Company

^{a)} dai.toko@titech.ac.jp

^{*1} <http://www.ipsj.or.jp/journal/submit/style.html>

^{*2} webdbf2014inquiry@googlegroups.com